






江南市 防災ハンドブック

Konan City Disaster Prevention Handbook

2026.11発行

地震への備え【P.1～８】
・南海トラフ巨大地震が発生したら
・南海トラフ地震臨時情報とは
・地震に備える
・非常持ち出し品・備蓄品
・地震にあったら　揺れがおさまったら

風水害への備え【P.９～14】
・防災情報を正しく理解する
・洪水と浸水について
・風水害に備える
・逃げ時判断
・江南市ハザードマップ

避難と避難生活【P.15～23】
・避難するとき
・避難所に到着したら
・避難所での生活にあたって
・災害関連死を防ぐために
・要配慮者への思いやり
・避難行動が心配な方
・ペットの避難について
・外国人への対応
・地域の防災活動について

その他の備え【P.24】

情報入手【P.25～26】

避難所・避難場所【P.27～28】

マイ・タイムライン【P.29～30】

PC・スマホ等でも
防災ハンドブック
及びハザードマップ
を確認できます。

ハンドブック

ハザードマップ

南海トラフ巨大地震が発生したら

南海トラフ巨大地震とは

南海トラフ地震は、駿河湾から日向灘沖にかけてのプレート境界を震源域として概ね100～150年周期で繰り返し発生してきた大規模地震です。

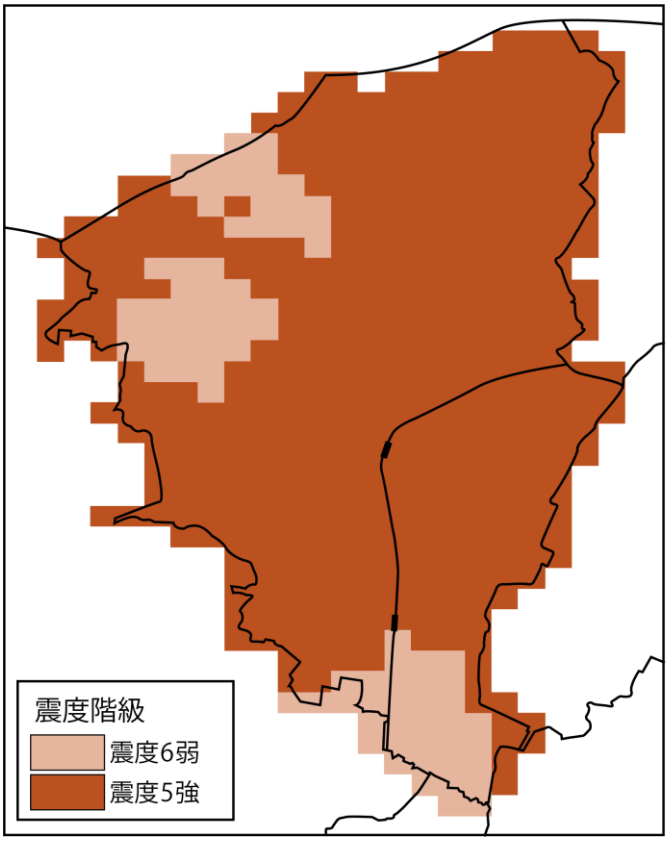
科学的に想定される最大クラスの南海トラフ地震（南海トラフ巨大地震）が発生した場合、静岡県から宮崎県にかけての一部では震度７となる可能性があるほか、関東地方から九州地方にかけての太平洋沿岸の広い地域に10mを超える大津波の襲来が想定されています。

江南市の地震被害想定

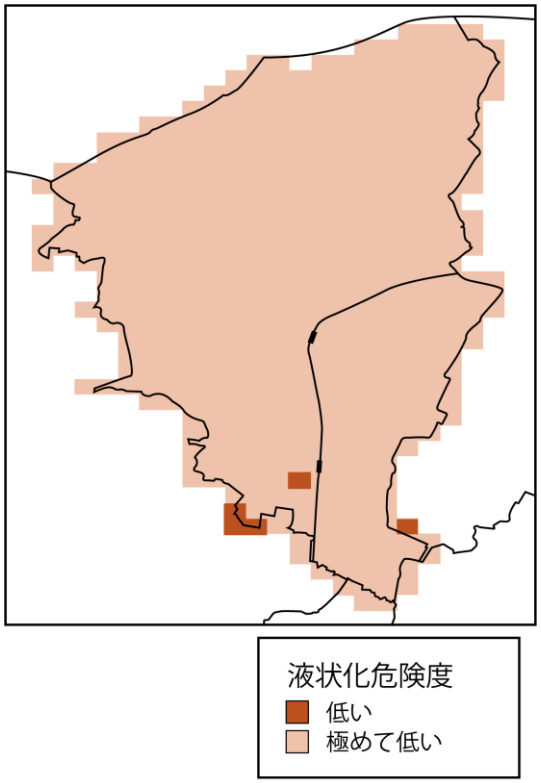
理論上最大想定モデル

南海トラフで発生する恐れのある地震・津波のうち、あらゆる可能性を考慮した最大クラスの地震を想定。（千年に一度あるいはそれよりもっと発生頻度が低いもの）

想定震度　陸側



想定液状化危険度　陸側



被害想定

想定時間帯（冬・夕方発災）

想定モデル	震度	建物全壊・焼失				
		揺れ	液状化	浸水・津波	がけ崩れ等	地震火災
理論上最大想定	6弱	約10棟	わずか	わずか	わずか	わずか
過去地震最大※	5強	わずか	わずか	わずか	わずか	わずか

※過去地震最大モデルとは、南海トラフで繰り返し発生している地震・津波のうち、発生したことが明らかで規模の大きいもの（宝永、安政東海、安政南海、昭和東南海、昭和南海の5地震）を重ね合わせたモデルです。
※「わずか」とは、5棟未満の想定のこと

愛知県防災会議地震部会が発表した「2024年度～2025年度　愛知県南海トラフ地震被害予測調査結果」令和８年６月）より

南海トラフ地震臨時情報とは

時間差で発生する巨大地震に備えましょう
～南海トラフ地震臨時情報～

・大規模地震の発生可能性が平常時と比べて相対的に高まったと評価された場合等に気象庁から「南海トラフ地震臨時情報」が発表されます。

・政府や地方公共団体などからの呼びかけ等に応じた防災対応をとりましょう。

地震発生後の防災対応の流れ

発生後

南海トラフ沿いの想定震源域又はその周辺で速報的な評価で算出された M6.8以上の地震が発生

南海トラフ沿いの想定震源域のプレート境界面で通常とは異なるゆっくりすべりが発生した可能性

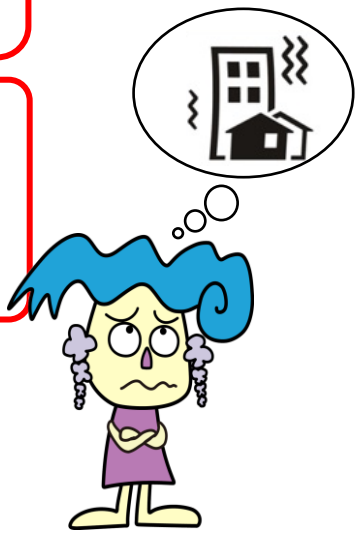
発生から５分～30分後

南海トラフ地震臨時情報（調査中）

	防災対応をとる必要あり		必要なし
	プレート境界のM8.0以上の地震(＊1)	M7.0以上の地震(＊2)／ゆっくりすべり(＊3)	左記以外
最短約２時間後	南海トラフ地震臨時情報（巨大地震警戒）	南海トラフ地震臨時情報（巨大地震注意）	南海トラフ地震臨時情報（調査終了）
１週間※	■ 日頃からの地震への備えを再確認する等 ■ 津波からの避難が間に合わない一部の地域では引き続き１週間の避難を継続	■ 日頃からの地震への備えを再確認する等	■ 通常の生活。ただし、大規模地震が起きる可能性がなくなったわけではないことに留意
１週間～２週間	・ 警戒措置を解除し、さらに１週間、地震への注意措置をとる。 ■ 日頃からの地震への備えを再確認する等	■ 地震発生に注意しながら通常の生活を送る。ただし、大規模地震が起きる可能性がなくなったわけではないことに留意	
２週間～	■ 地震発生に注意しながら通常の生活を送る。ただし、大規模地震がい起きる可能性がなくなったわけではないことに留意		







※ゆっくりすべりの変化がおさまってから、変化していた期間とおおむね同程度の期間が経過するまで

＊1　想定震源域のプレート境界でM8.0以上の地震が発生
＊2　想定震源域、またはその周辺でM7.0以上の地震が発生（ただし、プレート境界のM8.0以上の地震は除く）
＊3　住民が揺れを感じることがない、プレート境界間のゆっくりとしたずれによる地殻変動を観測した場合など

作成：内閣府・気象庁　　発行：令和７年８月　リーフレット「南海トラフ地震　　-その時の備え-」より

地震に備える

地震への備えのポイント

地震は突然起こります。家族の安全と被害を最小限にくい止めるためにも日頃からの準備が必要です。「いざ」というときに慌てず適切な行動がとれるようにしておくことが大切です。

① 避難場所、避難経路を決めておく

ハザードマップなどで「避難場所や避難所」、「避難経路」を事前に確認しておきましょう。



ハザードマップは、14ページ

② 非常持ち出し品や、備蓄の準備をする

災害が発生した場合、救援物資がすぐに届くとは限りません。
日頃から準備をしておきましょう。



詳しくは、5ページ

③ 家族の連絡方法を決めておく

避難先、安否情報を書いた連絡メモの提示など、連絡方法や内容を決めておきましょう。

詳しくは、裏表紙



④ 日頃から気象情報、防災情報を確認する

「最新で正確な情報」を入手できるように、さまざまな手段を準備しておきましょう

詳しくは、25ページ



⑤ 家庭でできる防災対策に取り組もう

地震に強い家づくり、部屋づくりのために、まずは、家の内外を点検しましょう。

詳しくは、4ページ



避難所、避難場所の違い

避難場所とは**命を守るために逃げる場所**



災害が発生又は発生するおそれがある場合、その危険から命を守るための緊急避難場所・施設です。災害によって避難する場所・施設が異なり、地震の余震に備える場合や大規模火災から避難する場合は「地震火災避難広場」、洪水時は高い場所に避難できる「洪水避難ビル」に避難しましょう。

地震火災避難広場の例	小中学校のグランドや公園など。
洪水避難ビルの例	小中学校や公共施設の上階、江南市と洪水時の避難場所に関する協定を締結している民間施設の屋上など。

指定避難所とは**災害によって自宅で生活できない場合に生活を送る場所**

災害発生後、自宅の損壊などで自宅での生活ができない被災者が、一定期間生活するための施設として、小中学校の体育館やその他の公共施設等を「指定避難所」に指定しています。「指定避難所」では、避難者のための食糧、生活用品等を備蓄しています。また避難所を運営するには、市職員等だけが行うのではなく、自主防災会（避難所を利用される方、利用されない方も）の協力が必要になります。

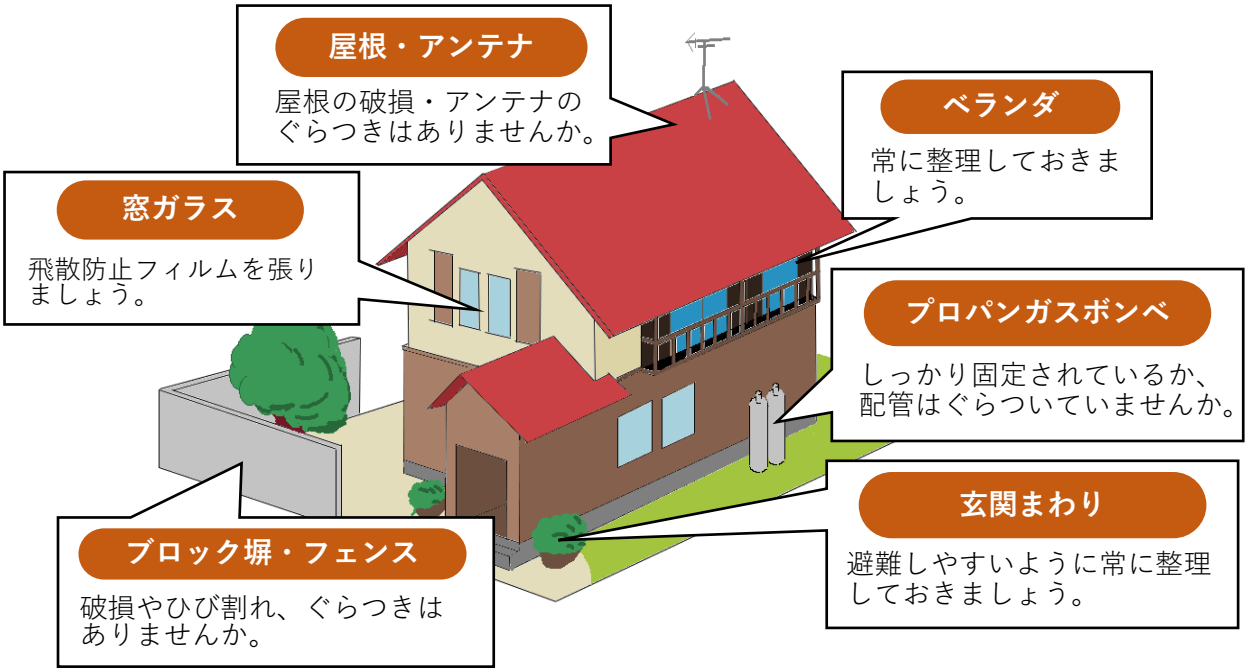


指定避難所、指定避難場所は、27ページ～28ページ

わが家の地震対策チェックポイント

屋外

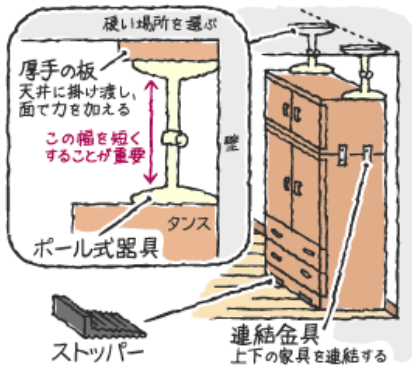
地震による被害を減らすために自宅の安全対策について点検しましょう。
住宅の耐震性に不安がある場合は耐震診断を行い、補強等を実施するようにしましょう。



屋内

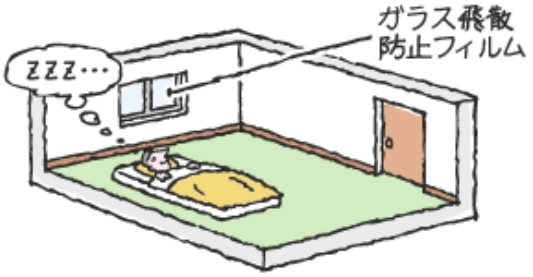
地震時のケガの原因は家具などの転倒によるものも多く、室内の錯乱は逃げ遅れの原因にもつながります。家具の配置や固定具合を見直し、安全対策に努めましょう。

家具は壁に固定



家具は必ず倒れると思い、ポール式器具やL字金具などで固定しましょう。

寝室は物を置かない



睡眠時は地震への対応が鈍るため、寝室に家具を置かず安全な空間を作りましょう。

感震ブレーカーを設置



地震発生時に一定以上の揺れを感知した場合、自動的に電気の供給を遮断することで、家電の転倒による火災や、停電復旧時の火災を防止できます。

避難の妨げになるものを置かない



被災時でも廊下や玄関が通れるように工夫し、非常用持ち出し袋を準備しましょう。

出典　総務省消防庁「感震ブレーカーはなぜ必要？」より
出典　内閣府「防災情報ページ　特集　地震発生！あなたの住まいは大丈夫？」を一部加工

非常持ち出し品・備蓄品

「非常持ち出し品」と「備蓄品」を区別して用意しましょう

非常持ち出し品は、災害発生直後の生活に最低限必要な物資です。備蓄品は、災害の発生によりライフラインが途絶えた際に、自給自足するために必要な物資です。必要量は最低でも３日分ですが、可能であれば１週間分の備蓄を推奨しています。

チェックリスト

※何を必要とするかは、家族状況やお住まいの地域によっても異なります。日ごろから家族で話し合いましょう。

非常持ち出し品



非常食品
- ☐ 飲料水
- ☐ 食料（レトルト食品、缶詰など）
- ☐ 携帯食（アメ、栄養補助食品など）

避難用具
- ☐ ヘルメット
- ☐ 懐中電灯
- ☐ 携帯ラジオ
- ☐ 乾電池（予備）



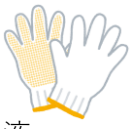


救急用品
- ☐ 救急セット（絆創膏、消毒液、包帯など）
- ☐ 常備薬・持病薬（合わせて処方箋のコピー）

貴重品
- ☐ 現金（公衆電話用の10円硬貨含む）
- ☐ 印鑑
- ☐ 通帳、身分証明書の各コピー



生活用品
- ☐ ティッシュペーパー
- ☐ タオル
- ☐ ビニール袋
- ☐ モバイルバッテリー
- ☐ ライター・マッチ
- ☐ 万能ナイフ
- ☐ 手袋（作業用）
- ☐ アルミブランケット
- ☐ 筆記用具
- ☐ 携帯（簡易）トイレ
- ☐ 生理用品



衛生用具
- ☐ マスク
- ☐ アルコール消毒液
- ☐ ハンドソープ・固形石鹸
- ☐ 歯ブラシ・洗口液
- ☐ 除菌シート
- ☐ 体温計

衣料品
- ☐ レインウェア
- ☐ 下着
- ☐ 靴下



乳幼児がいる家族の備え
- ☐ 離乳食、粉ミルク、液体ミルク
- ☐ 加熱調理器具
- ☐ 紙おむつ
- ☐ おしりふき など

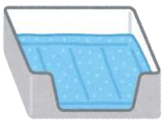


高齢者がいる家族の備え
- ☐ 入れ歯
- ☐ 介護食
- ☐ 大人用紙おむつ　など

ペットがいる家族の備え
- ☐ 動物病院連絡先
- ☐ リード
- ☐ ケージ
- ☐ ペット用食品
- ☐ 排泄用品　など







備蓄品

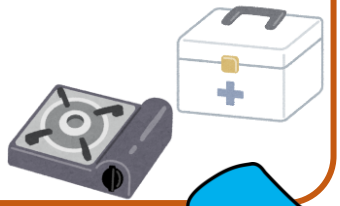


- ☐ 食料
- ☐ 飲料水（１人１日３リットル）
- ☐ 携帯トイレ（１人１日５回分程度）
- ☐ カセットコンロ、ガスボンベ
- ☐ 常備薬
- ☐ 懐中電灯
- ☐ 乾電池
- ☐ 充電式ラジオ
- ☐ ビニール袋



- ☐ ラップ
- ☐ ティッシュペーパー
- ☐ トイレットペーパー
- ☐ ウェットティッシュ
- ☐ ろうそく
- ☐ ライター・マッチ
- ☐ 毛布
- ☐ 歯磨きシート・洗口液
- ☐ 抗菌、消臭剤

- ☐ 救急セット
- ☐ 生理用品
- ☐ 使い捨てカイロ
- ☐ ポリタンク　など



備蓄の目安はこのくらい

○あなたと家族に必要な飲料水の備蓄量

１日500mLペットボトル６本（３L）×　＿＿人分　×　３日

＝　500mLペットボトル＿＿＿本（＿＿L）

○あなたと家族に必要な食料の備蓄量

１日３食　×　＿＿人分　×　３日　　＝　＿＿＿食分



出典：愛知県作成「防災・減災　備L（そなえる）ガイド」（家庭版）

トイレの備え

大規模災害時は、断水や下水管などの損壊によって水洗トイレが使用不可となる場合があります。

トイレは我慢できない生理現象です。排泄回数はひとり１日５回が目安とされています。自宅に携帯（簡易）トイレを備蓄して、平時に使用方法を確認しましょう。

地震後のトイレの確認

トイレを使う前に確認すべきポイントは以下のとおりです。

トイレが使用できるか疑問や不安がある場合は、携帯（簡易）トイレなどを使用しましょう。

水洗トイレ

- 排水管や排水設備などが破損していないか確認します。
- 配管の修理が終わるまで使用しません。特にマンションなどは下の階で汚水があふれるなどの事故が起こる可能性があります。
- 上下水道に使用制限がかかっていないか確認します。
- 宅内の汚水ますの蓋を開けて、水が流れるか確認します。

浄化槽

- 浄化槽のブロアが破損していないか確認します。電源が安全に作動するか確認します。
- 流入管が外れていたり、流入管や浄化槽本体が破損していないか確認します。確認用に水を流して漏れがあれば破損しています。
- 薬剤筒が倒れていたら、支持具にあわせて薬剤筒をたてます。

携帯（簡易）トイレの作り方

① 便座を上げてポリ袋を便器にかぶせる



② 便座を下げる



③ ２枚目のポリ袋を便座の上からかぶせ中に細かくした新聞紙※を入れ用を足し、２枚目のポリ袋のみを回収し、結びます



※細かく砕いた新聞紙は水分を吸収するためのものです。
市販の携帯（簡易）トイレセットを購入して凝固剤が付属している場合は、新聞紙ではなく、製品の説明書きに従って凝固剤を使用してください。

便袋の廃棄の仕方

- 使用済みの便袋は自宅の隅やベランダなどに保管します。
- ごみ収集が再開されたら便袋をゴミ袋にまとめて、可燃ごみとして廃棄します。

※凝固していない排泄物がある場合は、収集時に飛散のおそれがあるため、トイレ復旧後、トイレで排泄物を処理してから携帯（簡易）トイレのみ可燃ごみとして廃棄してください。

備蓄の目安はこのくらい

〇あなたと家族に必要な携帯（簡易）トイレの備蓄量

１日５回分　×　＿＿人分　×　３日　＝　＿＿＿回分



出典：政府広報オンライン　住まいが被害を受けたとき　最初にすること（https://www.gov-online.go.jp/article/202003/entry-9034.html#secondSection）より

地震にあったら

自宅

丈夫な机やテーブルなどの下にもぐり、机などの脚をしっかりと握りましょう。
また、頭を座布団などで保護して、揺れがおさまるのを待ちましょう。



- 突然大きな揺れに襲われたときは、まずは自分の身を安全に守れるように心がけましょう。
- 戸を開けて、出入り口の確保をしましょう。
- 棚や棚に載せてあるもの、テレビなどが落ちてきたりするので、離れて揺れが収まるのを待ちましょう。

寝ているとき

揺れで目覚めたら寝具にもぐりこむか、ベッドの下に入れる場合はベッドの下に入り、身の安全を確保しましょう。

- 暗闇では、割れた窓ガラスや照明器具の破片でけがをしやすいので注意をしましょう。
- 枕元には、厚手の靴下やスリッパ、懐中電灯、携帯ラジオなどを置いておき、避難が出来る準備をしておきましょう。
- 寝室には、倒れそうなもの等をおかないようにし、頭の上にものが落ちてこない所に寝ましょう。

台所

まずは、テーブルなどの下に身を伏せ、揺れが収まるのを待ちましょう。



- 食器棚や冷蔵庫が倒れてくるだけでなく、中身が飛び出してくることもあるので注意しましょう。
- コンロの近くの場合、調理器具が滑り落ちてくる場合があるので、コンロの近くから離れ、揺れが収まったら落ち着いて火を消しましょう。
- 揺れを感じて自動的にガスの供給を停止するガス漏れ遮断器（ガスマイコンメーター）がほとんどのご家庭に設置されています。特性や使い方を十分に理解しておきましょう。

外出時

強い揺れに襲われると、住宅地の路上には落下物や倒壊物があふれます。



- 住宅地の路地にあるブロック塀や石塀は、強い揺れで倒れる危険があります。揺れを感じたら塀から離れましょう。
- 屋根瓦や二階建て以上の住宅のベランダに置かれているエアコンの室外機、ガーデニング用のプランターなどが落下してくることがあります。頭の上も注意しましょう。
- 強い揺れが起きると、耐震性能の低い住宅が倒壊する場合もあります。これにより瓦礫や窓ガラスが道路内に散乱する可能性もありますので、揺れを感じたら周辺の状況に注意しましょう。

運転中の場合

急ブレーキを踏めば予想外の事故を引き起こすことにつながります。



- 揺れを感じたら
  - ① 急ブレーキは禁物です。ハンドルをしっかり握り、前後の車に注意しながら徐々にスピードを落とし、道路の左側に停車します。
  - ② エンジンを切り、揺れがおさまるまでは車外に出ず、カーラジオから情報を入手します。
  - ③ 避難の必要がある場合は、車のキーはつけたままにし、ドアをロックしないで、窓を閉めます。
  - ④ 連絡先を見えるところに書き、車検証などの貴重品を持ち、徒歩で避難します。
- 車での避難は、緊急自動車などの妨げになりますのでやめましょう。
- 高速道路では、普通の道路を走行中の対処に加え、以下の点にも留意しましょう。
  - ① 高速走行しているのでハザードランプを点灯させ、前後の車に注意を喚起します。
  - ② 高速道路では約1kmごとに非常口が設けられており、ここから徒歩で地上に脱出することができます。

揺れがおさまったら

身の安全の確保

まずは周囲を確認。身の安全を確保しましょう。

- あわてて行動すると、転倒した家具類、飛び散ったガラスの破片等でケガをする恐れがあります。
- 小さな揺れの時、又は揺れがおさまった後に、窓や戸を開け、出口を確保しましょう。

避難の判断

正しい情報に基づいた判断を
それがあなたの運命を左右します。



- 災害が発生したときにはデマが飛び交いがち。噂に惑わされず、テレビ、ラジオ、市等からの情報に注意し、正しい状況の把握に努めましょう。
- 市から避難の指示等が出たら、それに従いましょう。
- 市からの指示等がなくても、身の周辺に危険が迫っていると判断した場合は、ためらうことなく避難しましょう！
- 市役所、消防署、警察等は救急・救助活動等に追われていることが予想されます。災害状況の問い合わせ等はこれらの活動に支障をきたすのでやめましょう。
- 地震時に多くの人が電話をかけると、電話がつながりにくい状況になりますので、電話や携帯電話の使用は控えましょう。

避難の行動・家をでるとき

避難するときも周囲を確認。思わぬ事故に遭う恐れがあります。



- 外に出るときも周囲の確認を。ガラスや看板等が落ちてくる可能性があります。
- 避難する時には、電気のブレーカーを切り、ガスの元栓を閉めましょう。
- 我が家の安全を確認後、近所にも声をかけて安否を確認しましょう。

避難の行動・火災に遭遇した場合

火災では煙が死亡要因の多くを占めています。
冷静な避難行動をとりましょう。



- 日頃から火災が発生した場合に備えて避難ルートを確認しておきましょう。
- 火災報知設備の警報を聞いたときは、状況を確認するとともに、速やかな行動を心がけましょう。
- 煙が部屋や廊下に充満してきた場合は、ハンカチやタオルなどで口・鼻をしっかり覆い、煙を吸わないよう姿勢を低くして避難しましょう。

帰宅困難者・帰宅の判断

遠距離を無理に帰宅しようとすると、却って二次災害を引き起こす恐れもあります。むやみに移動しないようにしましょう。



- 通行できる道路が限られ、また駅などには人が押し寄せてパニックが発生する恐れがあり、消防活動などに支障を生じる恐れもあります。
- 家族の安否が心配な場合は、公衆電話、NTTの災害伝言ダイヤル１７１、携帯電話の災害伝言板で家族と連絡をとり、安全が確認できたら、無理に移動する必要はありません。
- 帰宅することだけを考えるのではなく、状況に応じて、自分がいる地域の救援活動に参加することも考えましょう。

帰宅困難者・帰宅方法

地震が起きると普段通っている道路も通行困難になります。普段から自分で帰宅ルートを歩くなどして、道路の状況を確認しておきましょう。

- 徒歩で帰宅する場合に備えて、普段から帰宅ルートを確認しておきましょう。災害時に通行止めになったり、混乱が発生する恐れが高いルートは出来るだけ避けましょう。
- 夜は特に足下が見えにくく危険です。特に自宅まで遠距離の人は時間帯もよく考えて行動しましょう。

出典：消防庁防災マニュアル（https://www.fdma.go.jp/relocation/bousai_manual/index.html）

防災情報を正しく理解する

雨の強さと降り方

1時間の雨量(mm)	予報用語	人の受けるイメージ	人への影響	屋外の様子	車に乗っていて
10以上～20未満	やや強い雨	ザーザーと降る	地面からの跳ね返りで足元がぬれる	地面一面に水たまりができる	
20以上～30未満	強い雨	どしゃ降り	傘をさしていてもぬれる		ワイパーを速くしても見づらい
30以上～50未満	激しい雨	バケツをひっくり返したように降る		道路が川のようになる	高速走行時、車輪と路面の間に水膜が生じブレーキが効かなくなる（ハイドロプレーニング現象）
50以上～80未満	非常に激しい雨	滝のように降る（ゴーゴーと降り続く）	傘は全く役に立たなくなる	水しぶきであたり一面が白っぽくなり、視界が悪くなる	車の運転は危険
80以上～	猛烈な雨	息苦しくなるような圧迫感がある恐怖を感じる			

風の強さと吹き方

風の強さ（予報用語）	平均風速（m/s）	おおよその時速	人への影響	屋外・樹木の様子	建造物	おおおその瞬間風速（m/s）
やや強い風	10以上15未満	～50km	風に向かって歩きにくくなる	樹木全体が揺れ始める	樋(とい)が揺れ始める	20
強い風	15以上20未満	～70km	風に向かって歩けなくなり転倒する人もでる	看板やトタンが外れ始める	屋根瓦・屋根葺材がはがれるものがある	30
非常に強い風	20以上25未満	～90km	何かにつかまっていないと立っていられない	細い木の幹が折れたり、根の張っていない木が倒れ始める	屋根瓦・屋根葺材が飛散するものがある	40
	25以上30未満	～110km	屋外での行動は極めて危険		固定の不十分な金属屋根の葺材がめくれる	50
猛烈な風	30以上35未満	～125km		多くの樹木が倒れる	外装材が広範囲にわたって飛散し、下地材が露出するものがある	60
	35以上40未満	～140km				
	40以上	140km～			住家で倒壊するものがある	

気象庁ホームページ「気象庁が天気予報等で用いる予報用語」の情報を基に作成

気象防災速報

気象防災速報は、顕著な現象を速報的に伝える情報で、警戒レベル相当情報やそれ以外の警報等の「対応や行動が必要な状況であることを伝える簡潔な情報」を補足するものとして、その根拠を示し解説する速報性の高い情報で、府県ごとに発表します。

大雨による災害発生の危険度が急激に高まっている中で、線状の降水帯により非常に激しい雨が同じ場所で降り続いている状況、またはその直前の予測がされた場合、「気象防災速報（線状降水帯発生）」、「気象防災速報（線状降水帯直前予測）」をそれぞれ発表します。

また、数年に一度しか起こらないような記録的な短時間の大雨を観測し、より一層の警戒を呼びかけるときには、「気象防災速報（記録的短時間大雨）」を発表します。

そのほか、積乱雲の下で発生する竜巻、ダウンバーストなどの激しい突風に対して注意を呼びかける「気象防災速報（竜巻注意/竜巻目撃）」や、短時間の顕著な大雪となることが見込まれる場合に発表する「気象防災速報（短時間大雪）」があります。

警戒レベルと避難情報

警戒レベルとは、水害や土砂災害に備えて住民がとるべき行動をお知らせするために、市町村が発令する避難情報等や気象庁等が発表する防災気象情報等の防災情報を、５段階に分けたものです。警戒レベルに応じた行動を、普段から確認しておくことが大切です。

江南市やよく立ち寄る市町村、旅行先の自治体などが作成している防災マップ（ハザードマップ）を活用して、災害のリスクを確認し、避難場所・経路を決めておきましょう。

警戒レベル	状況	住民がとるべき行動	行動を促す情報	防災気象情報（警戒レベル相当）
5	災害発生又は切迫	命の危険直ちに安全確保	緊急安全確保※1（市町村が発令）	レベル5 氾濫特別警報 レベル5 大雨特別警報 レベル5 土砂災害特別警報 レベル5 高潮特別警報 【暴風特別警報※2】
～警戒レベル４までに必ず避難～				
4	災害のおそれ高い	危険な場所から全員避難	避難指示（市町村が発令）	レベル4 氾濫危険警報 レベル4 大雨危険警報 レベル4 土砂災害危険警報 レベル4 高潮危険警報
3	災害のおそれあり	避難に時間のかかる要配慮者（高齢者・障がい者・妊産婦・乳幼児等）は、危険な場所から避難	高齢者等避難（市町村が発令）	レベル3 氾濫警報 レベル3 大雨警報 レベル3 土砂災害警報 レベル3 高潮警報 【暴風警報※2】
2	気象状況悪化	自分の避難行動を確認	レベル2 氾濫注意報 レベル2 大雨注意報 レベル2 土砂災害注意報 レベル2 高潮注意報 【強風注意報※2】	レベル2 氾濫注意報 レベル2 大雨注意報 レベル2 土砂災害注意報 レベル2 高潮注意報 【強風注意報※2】
1	今後気象状況悪化のおそれ	災害への心構えを高める	早期注意情報	早期注意情報

※1　緊急安全確保は市町村が災害の状況を確実に把握できるわけではないことから、必ず発令されるものではありません。

※2　暴風特別警報、暴風警報、強風注意報については、参考として記載しています。

５段階の警戒レベルと避難行動の関係

市町村から警戒レベル４「避難指示」や警戒レベル3「高齢者等避難」が発令された場合は、「住民がとるべき行動」に基づき、必要な避難行動をとりましょう。

また、市町村から「避難指示」や「高齢者等避難」が発令されていなくても、発表されている防災気象情報がどの警戒レベルに相当するのか確認し、危険な場所から、自ら避難の判断をしましょう。また、明るいうちに予防的避難を心がけましょう。



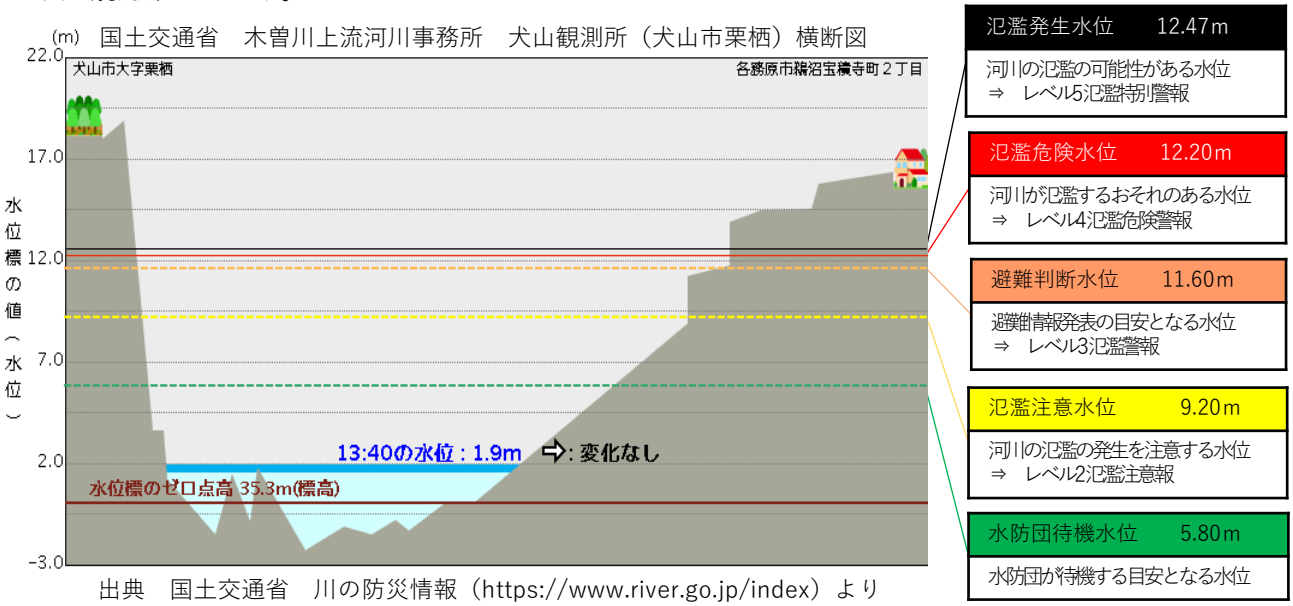
洪水と浸水について

洪水（外水氾濫）

洪水（外水氾濫）は、大雨で河川の水位が堤防を越えて水があふれたり、堤防が決壊することで発生します。

河川によって基準となる水位が決められており、対象となる河川の水位が上昇した場合、「レベル2氾濫注意報」、「レベル3氾濫警報」、「レベル4氾濫危険警報」、「レベル5氾濫特別警報」の防災気象情報が発表されます。

江南市では、氾濫に関する防災気象情報が発表される河川は、木曽川のみで基準となる水位を観測する観測所は、犬山の観測所となります。



出典　国土交通省　川の防災情報（https://www.river.go.jp/index）より

浸水（内水氾濫）

浸水（内水氾濫）は、大雨によって下水道管や側溝の排水が間に合わずにマンホールや側溝からあふれ出すことで発生します。

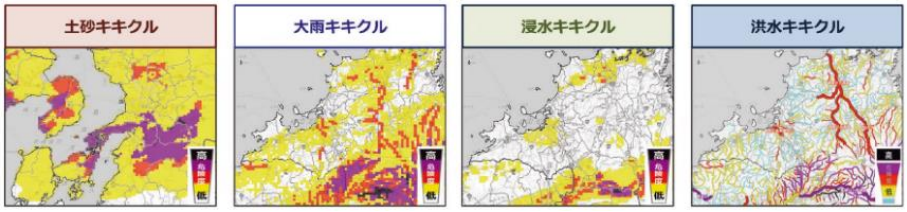
江南市域や氾濫に関する防災気象情報が発表される河川以外の河川の流域で大雨が降った場合、「レベル2大雨注意報」、「レベル3大雨警報」、「レベル4大雨危険警報」、「レベル5大雨特別警報」の防災気象情報が発表されます。

江南市では、氾濫に関する防災気象情報が発表される河川以外の河川は、新川水系青木川・五条川、日光川水系日光川、また、市外の河川ですが郷瀬川・新郷瀬川となります。

現在の川の水位や浸水の危険性を知るには？

気象庁　あなたの街の防災情報「キキクル」

「キキクル」は、土砂災害、大雨、浸水や洪水による災害の危険が、どこで、どのレベルで迫っているかを、地図上で視覚的に知ることができる情報で、気象庁のホームページで公開されています。



出典　気象庁　キキクル

江南市の情報
「キキクル」

国土交通省　川の防災情報

身近な河川の大雨時の水位と危険性をリアルタイムで確認できます。

観測所名	河川名	水位(m)	基準水位(m)			
			氾濫注意	避難判断	氾濫危険	氾濫発生
いぬやま 犬山	きそがわすいけい きそがわ 木曽川水系 木曽川	1.87 →	9.20	11.60	12.20	12.47

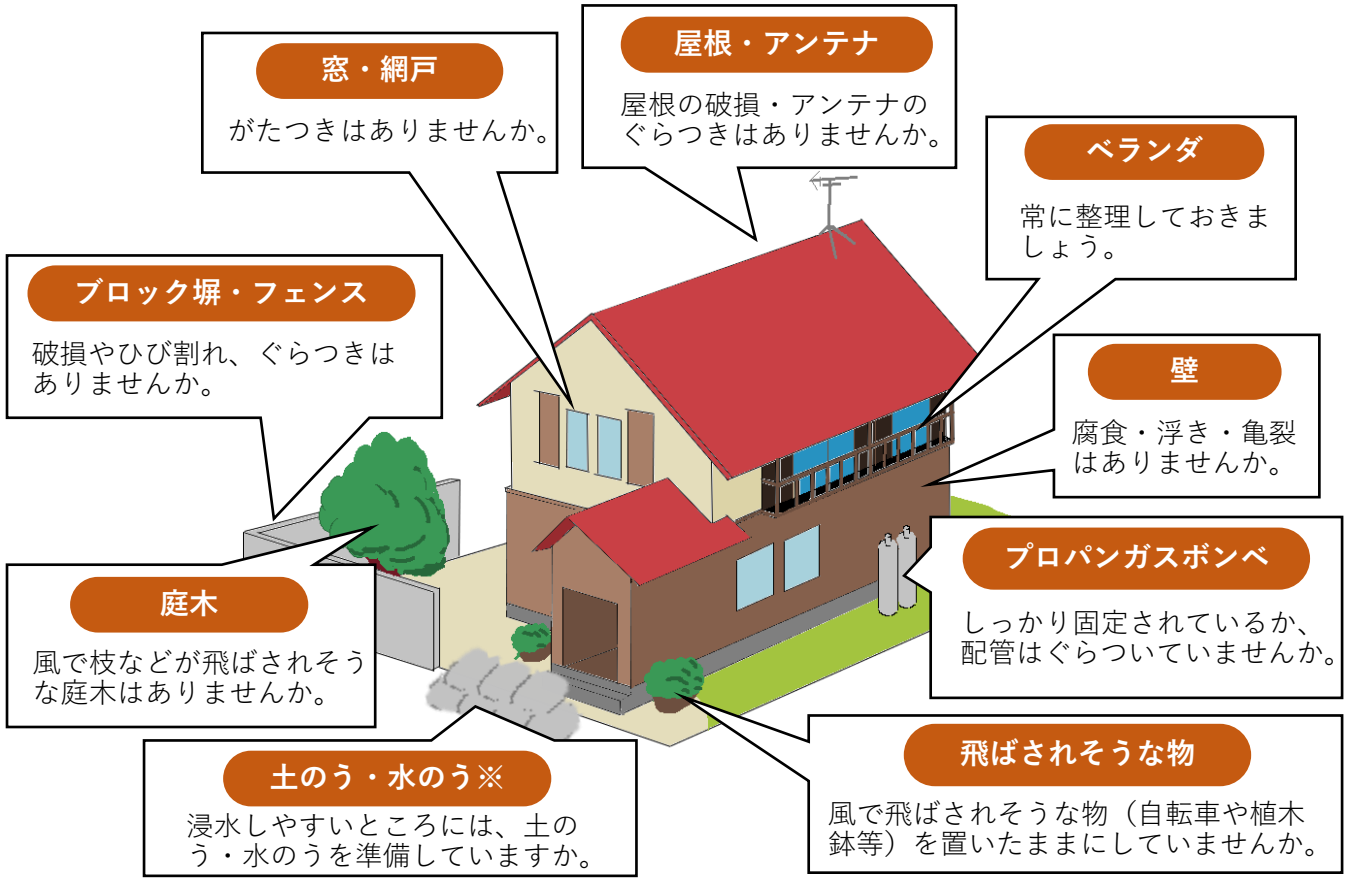
出典　国土交通省　川の防災情報

川の防災情報
江南市関係観測所の水位

風水害に備える

台風や集中豪雨では、時として家屋への浸水、河川の氾濫など様々な被害が想定されます。
日頃から安全対策と、危険が迫ったときの対策を知っておきましょう。

わが家の風水害対策チェックポイント



※水のうとは、袋に水を入れて作る災害時の簡易的な水害対策用品です。

土のうの配布について

江南市では、自宅の浸水対策に使用するための土のう（砂入り・袋のみ、上限２０個・袋）を配布しております。
必要な方は、防災安全課で申請のち、お渡しいたします（ご自宅への配送は行っておりません。また、お渡しした土のうの返却はできません）。

お問い合わせ
防災安全課
TEL
0587-50-0173

風水害への備えのポイント

① 自分のいる場所の水害リスクを確認する

ハザードマップなどで自宅や職場、学校、よく使う道などの予想される浸水の深さや避難場所を調べておきましょう。



ハザードマップは、14ページ

② 日頃から気象情報、防災情報を確認する

「最新で正確な情報」を入手できるように、さまざまな手段を準備しておきましょう。

詳しくは、25ページ



③ 家庭でできる防災対策に取り組もう

風水害に強い家づくりのために、まずは、家の外を点検しましょう。



詳しくは、このページ上部

逃げ時判断

平時に確認

台風・豪雨時に備えてハザードマップと一緒に「避難行動判断フロー」を確認しましょう

「自らの命は自らが守る」意識をもち、自宅の災害リスクととるべき行動を確認しましょう。



避難行動判定フロー

あなたがとるべき行動は？　必ず取り組みましょう

ハザードマップで自分の家がどこにあるか確認し、印をつけてみましょう。

※ハザードマップは浸水や土砂災害が発生するおそれの高い区域を着色した地図です。着色されていないところでも災害がおこる可能性があります。

家がある場所に色が塗られていますか？

いいえ → 色が塗られていなくても、周りと比べて低い土地にお住まいの方は、市からの避難情報を参考に必要に応じて避難してください。

災害の危険があるので、自宅の２階以上での屋内安全確保または自宅の外への立ち退き避難が必要です。

屋内安全確保 → **浸水の危険があっても、次の場合は自宅に留まり安全確保をすることも可能です。**

① 洪水により家屋が倒壊又は崩落してしまうおそれの高い区域の外側にある。
② 自宅内の浸水する深さよりも高い場所（２階など）がある。
③ 浸水しても水が引くまで我慢できる、水・食料などの備えが十分にある。

立ち退き避難

ご自身または一緒に避難する方は避難に時間がかかりますか？

いいえ

はい

安全な場所に住んでいて身を寄せられる親戚や知人はいますか？

はい

警戒レベル３が出たら安全な親戚や知人宅に避難しましょう。（日頃から相談しておきましょう）

いいえ

警戒レベル３が出たら、市が指定している洪水避難ビルに避難しましょう。

安全な場所に住んでいて身を寄せられる親戚や知人はいますか？

はい

警戒レベル４が出たら安全な親戚や知人宅に避難しましょう。（日頃から相談しておきましょう）

いいえ

警戒レベル４が出たら、市が指定している洪水避難ビルに避難しましょう。

警戒レベル３や警戒レベル４がでたら、危険な場所から避難しましょう。

「避難」とは「難」を「避」けることです。
安全な場所にいる人は、避難場所に行く必要はありません。

避難先は小中学校・公民館だけではありません。
安全な親戚・知人宅やホテル・旅館に避難することも考えてみましょう。

参考　内閣府「避難情報に関するガイドライン」

江南市ハザードマップ

市内を流れる河川で洪水が起こった時の浸水想定、市内で大雨が降った時の浸水想定、市内の指定避難所、地震火災避難広場、洪水避難ビルなどの情報を重ねたハザードマップをホームページで公表しております。

自らの命や家族の命を守るためには、ご自宅や学校・職場などの災害想定や、避難場所などを知っておくことが重要です。

確認できる情報

携帯電話などのGPSを使用し、現在地から指定した避難所などのルートを確認できます。

河川などの氾濫・洪水

- 木曽川洪水浸水想定区域
- 新川流域(青木川・五条川)洪水浸水想定区域
- 日光川洪水浸水想定区域
- 郷瀬川・新郷瀬川洪水浸水想定区域
  (犬山市内を流れる河川)
- 入鹿池浸水想定区域

大雨による浸水

- 内水浸水想定区域

市内の情報

- 指定避難所、地震火災避難広場、洪水避難ビルの場所
- アンダーパスの場所



江南市ハザードマップ
https://www2.city.konan.lg.jp/bousai/htdocs

水害から避難するときの注意点

浸水時の避難に注意

短時間で急激に大雨が降ると、災害発生の危険が高まります。

大雨が予想されるときは、気象情報に十分注意し、川や池などの水辺に近づかないようにしてください。

浸水が始まる前に避難

高齢者や障がいのある方は、早めに避難することが大事です。

また、暗くなる前に避難を完了させましょう。

危険箇所を避ける

アンダーパスは避けましょう。道路が冠水している場合があります。

２人以上で避難する

様々な事態が想定されますので、単独での移動は避け、複数人で、助け合いながら避難しましょう。

歩ける深さはひざ下まで

水深が腰まであったり、浅くても水の流れが速い場合は無理せず、高い場所で救助を待ちましょう。



できるだけ車で避難しない

水深が３０ｃｍに達すると車のエンジンが停止する可能性があります。

また、水深と流される速さが増すと車ごと流される危険があります。



避難するとき

避難する前に

避難をして家を空ける前に２次災害を防ぐためにすべきことを確認しましょう。

- 空き巣や火災の延焼を防ぐため家の戸締りを忘れずに！
- 家を出るときには、ガス、水道の元栓を閉める。
- 電気が復旧した時に、壊れたり倒れた電化製品に通電して火災が発生することを防ぐため、電気のブレーカーを切る。
- 探しに来た人に無事を伝えられるように、玄関に「全員無事です」といったメモを張りましょう。

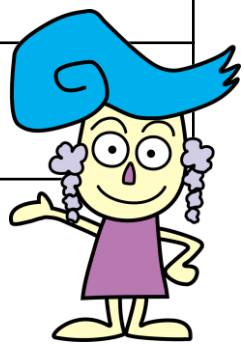


どこに避難する？

避難行動は、災害の状況や避難の目的によって変わってきます。

「地震への備え」と「風水害への備え」のそれぞれで確認した避難行動を基に指定緊急避難場所および指定避難所のリストを見ながら、いざという時どのように行動するのか、家族と話し合っておきましょう。

避難の目的	想定災害	逃げるタイミング	避難の種類
いのちを守るための避難	主に風水害	災害発生前 災害発生直後	**●立ち退き避難** ⇒　市が指定した当該災害に対応した指定緊急避難場所(**地震火災避難広場・洪水避難ビル**）への避難 **●屋内安全確保** ⇒　その時点にいる建物内において、より安全な部屋等へ移動
仮の生活を送るための避難	主に地震	災害発生後、落ち着いたら	市が指定する**指定避難所**への移動または**在宅避難**



既に周辺で災害が発生している場合など、立ち退き避難がかえって命に危険を及ぼしかねないと自ら判断する場合は、**少しでも命が助かる可能性の高い避難行動**を取りましょう。

分散避難

分散避難とは、指定避難所以外の「安全な場所への避難」も含めた考え方です。

以前は、「避難＝指定避難所」という考え方が一般的でしたが、「避難所」での生活は、普段とは違う生活の中で心身にストレスがかかる他、多くの人が密集すると、様々な感染症が広がるリスクがあります。

下記のような避難所以外の場所に避難する「分散避難」も検討してみてください。

- **安全な宿泊施設への避難**
- **親戚・知人宅への避難**
- **在宅避難**　詳しくは、16ページ
- **車中泊避難**　詳しくは、16ページ

在宅避難

「在宅避難」とは、災害時、自宅に倒壊や焼損、浸水、土砂災害の危険性がない場合に、自宅で避難生活を送る方法を指します。

在宅避難のためには「事前の準備」が重要となりますので、日頃から備えをしておきましょう。

食料や水などの備蓄

備蓄品については、５ページ

過去の経験によれば、災害発生からライフライン復旧まで１週間以上を要するケースが多くみられます。

このため、最低３日分～１週間分×人数分の食品の家庭備蓄が望ましいといわれています。

備蓄の目安＝家族の人数×最低３日分（できれば１週間）

生活用水について



ご家庭でも、お風呂の残り湯をためておいたり、雨水タンクを設置することにより、災害時に備えることが大切です。

日常生活の水道使用量目安			
（１日４人家族）	合計650L	風呂 … 310L	トイレ … 140L
		洗濯 … 120L	飲料・洗面・手洗い … 80L

自宅を地震に耐えられる家にしよう

江南市では、地震に備えて次のような「耐震等補助制度」があります。（令和８年度時点）

- 木造住宅無料耐震診断
- 木造住宅耐震改修費補助
- 段階的耐震改修費補助
- 木造住宅耐震シェルター整備費補助
- 木造住宅解体工事費補助
- ブロック塀等撤去費補助

お問い合わせ	建築課　TEL　0587-50-0287

耐震補助制度HP

車中泊避難

車中泊避難は、車を避難先として選択する避難行動です。

平成28年熊本地震では、避難した人のうち約45％が車中泊避難を選択しました。

「避難所だとプライバシーを確保されない」、「建物の中にいることが怖い」、「幼児やペットがいるから周囲に気を使ってしまう」などの理由から選択されています。

なお、車中泊避難では、**エコノミークラス症候群**や**熱中症**、**低体温症**、長時間のアイドリングに起因する**一酸化炭素中毒**の危険性もありますので、健康面に注意し避難してください。



各症状の予防法は、18ページ

在宅避難 車中泊避難の支援物資

在宅避難・車中泊避難していても、避難所が開設されている場合、避難所に来て、支援物資などを受けとることができます。

市が在宅避難、車中泊避難している方が必要となる支援物資の量を把握するため、最寄りの開設されている避難所で受付を行い、在宅避難、車中泊避難していることを申し出てください。

避難所に到着したら

災害時、避難所には、多くの人が集まり開設時には混乱することも考えられるため、避難所の運営には地域の皆さんの協力が不可欠です。

受付で登録する



受付で、世帯ごとに受付簿を受け取り記入します。

高齢者、障がいや病気を抱えている方、乳幼児を連れてくる方や妊婦さん、外国人など避難生活で配慮が必要な方は、登録時に運営スタッフへ伝えてください。

掲示板で安否確認

避難所では安否確認掲示板が設置されますので家族や知人、近隣の方などの安否を確認します。

役割分担して運営に参加

避難所は、集まるすべての人で協力し合って運営します。

性別や年齢に関係なく、積極的に避難所の運営（食料・物資班、連絡・広報班、保健・衛生班、施設管理班など）に関わりましょう。

避難所運営マニュアルを作成しました

災害時に避難所を開設・運営するために必要な標準的な事項をまとめた「愛知県避難所運営マニュアル」を基に、江南市の実情に合わせた独自のマニュアルを作成しました。

このマニュアルは市のホームページで公開しており、各避難所開設時にも見ることができます。

江南市避難所運営マニュアルHP

避難所での生活にあたって

避難所では、限られた空間の中で、たくさんの方々が生活します。
ルールを守り、お互いに助け合って良好な環境を保ちましょう。

物資の配給



運営スタッフの指示に従い、物資を受け取りましょう。
要配慮者への支援や協力もお願いします。

着替え

避難所には、着替えや洗濯物を干すスペースが設けられますのでそちらを利用しましょう。

トイレの利用



停電や断水時には、必ず決められた方法で利用しましょう。
全員が気持ちよく利用できるよう、交代で清掃を行いましょう。

ゴミ出し

ゴミは避難所でのルールに従い分別し、指定された袋に入れて口をしっかり縛って、決められた場所に集めてください。

たばこ・酒

喫煙、飲酒は避難所内の施設では禁止されています。

消灯後



消灯後には、話し声や携帯電話・ゲーム機等の画面の明かり・音などが漏れないよう周囲の人への配慮をお願いします。

防犯

避難所では窃盗や詐欺、性犯罪、押し売りなどの犯罪に注意して、怪しい人を見かけたら、警察官や施設担当者に連絡しましょう。

出典：政府広報オンライン　ACTION04［避難生活］避難所での生活ルール（https://www.gov-online.go.jp/tokusyu/bousai/shelter.html）より

災害関連死を防ぐために

災害関連死とは、被災後の避難生活での心身の不調や過労などの間接的な原因で死亡することです。

近年では直接死だけでなく間接死での死者も増えており、災害の直接的な被害を抑えるだけでなく、間接的な被害を抑えることも重要なポイントになっています。

なれない避難生活での健康を保つため、病気などの予防方法や知識を身につけましょう。

口腔ケア

災害時は断水や歯ブラシ・マウスウォッシュの不足、入れ歯の衛生環境の悪化などで口腔内が不衛生になりがちです。

その結果、虫歯や歯周病、インフルエンザなどの感染症リスクが高まり、特に高齢者は口腔内細菌の増殖による誤嚥性肺炎などの呼吸器系感染症の危険が増します。

災害時に口腔内を清潔に保つことは「命を守ること」に直結します。

非常時の口腔ケア方法

- 水がない時はガムを噛んだり口の体操をしたりして、唾液を出しましょう。唾液には口腔内をきれいに保つはたらきがあります。
- 水が少しあるときは、ハンカチやティッシュを少し濡らして歯の汚れを取るのも効果があります。

ストレスへの対応

基本的な対応

- ひとりで過ごさず、ほかの人とコミュニケーションを取りましょう。
- できるだけ休息や睡眠をとりましょう。眠れなくても、横になるだけで休めます。
- つらい気持ちは「治す」というよりも「支え合う」ことが大切です。
- 悩み事はひとりで抱え込まず、身近な人や専門家に相談しましょう。

こどもへの対応

- こどもを一人にせず、安心感・安全感をあたえましょう。
- 抱っこなどでスキンシップを増やしましょう。
- 赤ちゃん返り、依存、わがままなどの症状が現れても、受け止めてあげましょう。

エコノミークラス症候群

狭い避難所や車中泊など狭い場所に長時間座ったまま足を動かさないと、血行不良が起こり血液が固まりやすくなり、血の固まり（血栓）が血管の中に流れ、肺に詰まって肺塞栓などがおこるおそれがあります。

予防法

- こまめな水分補給
- ときどき軽い体操やストレッチを行う。
- かかとの上げ下ろし運動やふくらはぎを軽くもんだりする。
- ゆったりとした服装
- 眠るときは足を上げる　　など

生活不活発病

身体を動かす機会が減ると、歩行困難や寝たきり認知症などの症状につながる生活不活発病が起こりやすくなります。

予防法

- 適度な運動を行うこと

熱中症

気温や室温が高い状況や栄養不足により、うまく体温調節できない場合におこります。

特に夏は熱中症の危険性が高まるので注意しましょう。

予防法

- こまめな水分・塩分補給
- 通気性の良い服をきる
- 冷たいタオルで体を冷やす　など

避難所の選択（分散避難）を考えよう

分散避難については、15ページ

市で指定している避難所の環境は、決して良い環境だとは言えません。多くの方が避難することを想定しているため、プライベート空間の確保やいびきや泣き声、足音といった音などは各個人が配慮・我慢する必要があります。

避難所以外の場所に避難する「分散避難」も検討してみてください。

要配慮者への思いやり

要配慮者とは、妊婦、子ども、高齢者、外国人のほか、障がいのある方などです。「ヘルプマーク」など周囲の方に援助や配慮を必要としていることを知らせるマーク等を身につけている方など、要配慮者には思いやりと支援を心がけましょう。

女性・妊婦

女性は更衣などの問題、妊婦は授乳などの不安を抱えています。
また妊娠中の女性や産後まもないお母さんは、健康面や授乳環境によるプライバシーに配慮する必要があります。



マタニティーマーク

子ども

子どもは遊ぶことでストレスを発散させます。気持ちを表出できるような空間や時間などを確保し、気分転換が図れるようにしましょう。



高齢者

高齢者は、不便があっても自分から言い出せないことがあります。
明るい声で頻繁に話しかけ、孤立感や不安感を抱かせないようにしましょう。

外国人

生活文化の違いや言葉を理解できずに不安を抱えているかもしれません。
できるだけゆっくり、文を短く、簡単な言葉で言い換えながら、情報を伝えましょう。

障がいのある方

車いすを必要とする方

- 階段では、介護者は大人３人以上で、上りは前向き、下りは後ろ向きで移動する。

目の不自由な方

- 何か困っているように見えたときは「何かお手伝いしましょうか」と、まず声をかけましょう。
- 手引きをするときは、肘や肩に手を置いてもらい、半歩前をゆっくり歩く。

耳の不自由な方

- 話をするときは、顔や口元が見えるように正面を向いて、ゆっくりはっきりを話す。
- 伝わらないようであれば、筆談や身振り手振りなど視覚的な方法もうまく使いましょう。



耳マーク



ヘルプマーク

知的障がい・精神障がいのある方

- 横や後ろからではなく本人の正面から、ゆっくりやさしく丁寧に話しかける。
- もしパニックになっているときは、やさしく声をかけて落ち着くまで見守ってください。
- 強引な対応はかえって不安が大きくなる場合があります。

福祉避難所・乳幼児避難所

福祉避難所は、高齢や障がい等の理由で指定避難所での避難生活が困難な要配慮者を受け入れるための施設です。

江南市では、市内の福祉施設と協定を締結し、指定避難所での避難生活が困難な方の受入れの準備をしております。

ただし、福祉避難所は、受入れの準備ができてから利用できる施設ですので、避難の際は、直接福祉避難所に行くのではなく、まずは指定避難所に避難するようにしてください。

乳幼児についても、指定避難所での生活が困難な場合、「ウィステリアプラザ（３階）」を乳幼児避難所として開設し、乳幼児とその保護者の受入れを行います。

避難行動フロー

自宅が被災
↓ 避難
指定避難所
↓ 指定避難所での生活が難しい場合
福祉避難所
乳幼児避難所

避難行動が心配な方

江南市の「避難行動要支援者名簿登録制度」

市では、災害時に支援が必要な方の情報を把握し、災害時において迅速かつ円滑な支援を行うために「江南市避難行動要支援者名簿登録制度」を行っています。

避難行動要支援者名簿登録制度HP

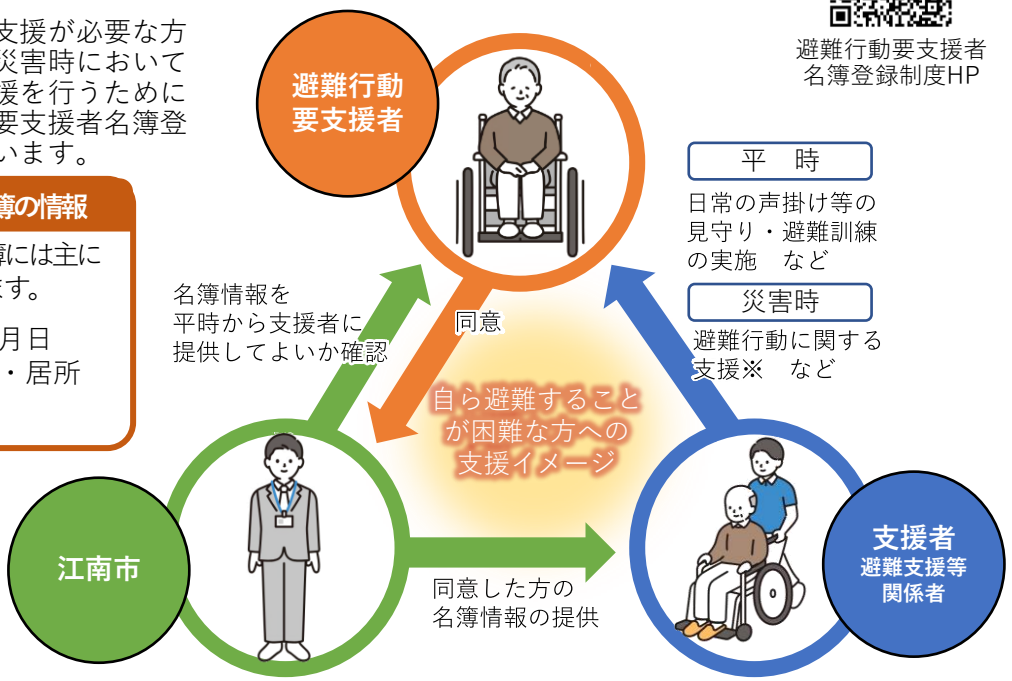
避難行動要支援者名簿の情報

避難行動要支援者名簿には主に次の情報が登録されます。

氏名	生年月日
性別	住所・居所
電話番号	など

お問い合わせ

地域ふくし課
TEL
0587-50-0223



個別避難計画

個別避難計画HP

個別避難計画は、避難行動要支援者を対象に、災害時の避難に備えて、

①どの経路でどこの避難所に避難するか

②誰が避難を支援するか

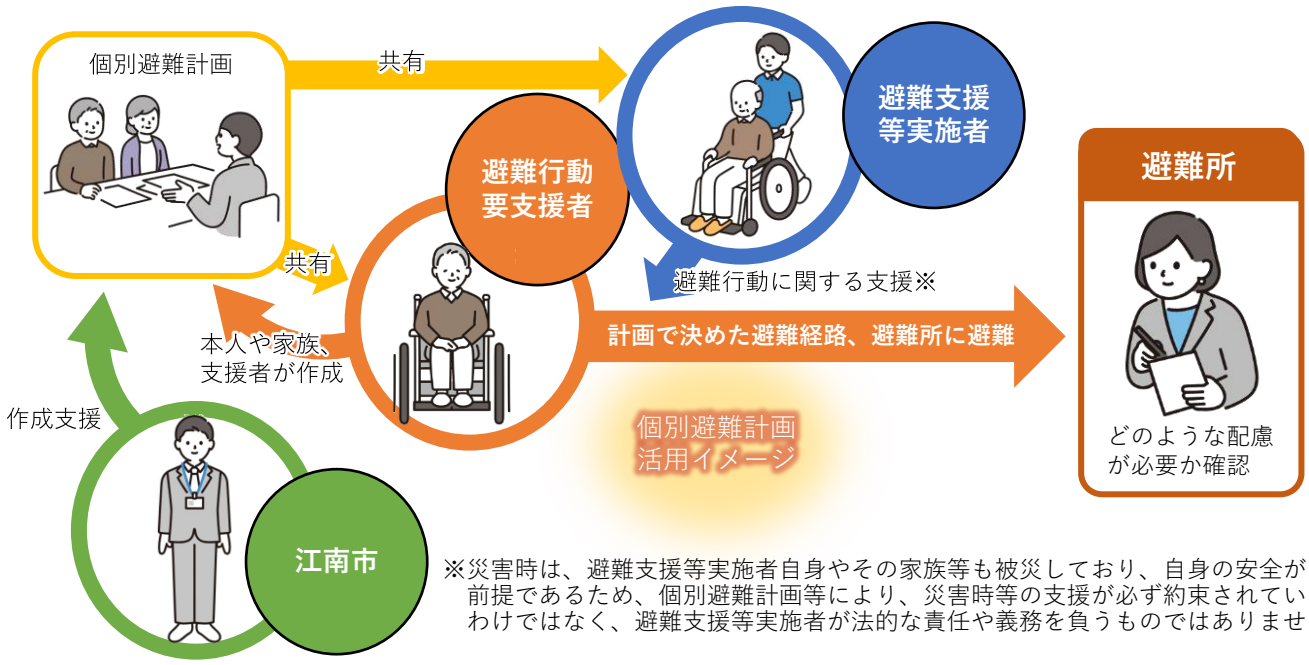
③どのような配慮が必要になるか

などをあらかじめ決めておくことで、本人や家族を含めた防災意識、対応力（自助）を高めていただくものです。

個別避難計画を作成することで、災害が発生した、または、発生するおそれがある場合に、避難支援等実施者から避難支援を受ける可能性が高まります。

お問い合わせ

防災安全課
TEL
0587-50-0173



※災害時は、避難支援等実施者自身やその家族等も被災しており、自身の安全が前提であるため、個別避難計画等により、災害時等の支援が必ず約束されているわけではなく、避難支援等実施者が法的な責任や義務を負うものではありません。

ペットの避難について

同行避難

避難所の確認は、27ページ

本市の避難所へのペットの避難については、「同行避難」とします。

「同行避難」とは、災害時に飼い主がペットを同行して避難所まで避難することを指し、避難所で飼い主とペットが同じスペースで過ごすことを指すものではありません。

避難所・仮設住宅では動物の好きな人、嫌いな人、動物アレルギーの人など様々な人が集まり、共同生活を行うため、避難所のルールに従い周りの人に配慮した飼育管理を行いましょう。

江南市では、ペットを受け入れられる避難所ごとに、ペットの飼育場所を選定し、人とペットの過ごす場所を分けることとしています。

人とペットの生活スペースを区切ることができない規模の小さい避難所は、ペットの受け入れができませんのでご注意ください。

ただし、洪水からの避難のように同行避難が可能な避難所まで逃げていては避難が間に合わない場合など、緊急を要する場合はこの限りではありません。

飼い主が「平常時」に備えておくこと

- 迷子札やマイクロチップなどで、ペットの所有者を明示しましょう。
- いざという時におとなしくケージに入れるよう、日頃から慣らしておきましょう。
- むやみに吠えたり、人に危害を加えたりしないよう日頃からしつけておきましょう。
- 感染症防止のため、各種ワクチンの接種や寄生虫を駆除しましょう。
- 同行避難ができる避難所などの情報収集し、避難経路の確認をしましょう。
- 避難所以外の親戚や友人、動物病院、ペットホテルなどの一時預け先を確保しましょう。
- 動物用避難用品を備蓄しておきましょう。

動物用避難用品チェックリスト

※何を必要とするかは、ペットによって異なります。最低5日分、できれば7日分以上備蓄しましょう。

食料品
- □ 飲料水
- □ ペットフード
- □ 医療品
- □ 療法食
- □ 普段使っている食器

飼育用具
- □ 首輪
- □ 飼育ケージ
- □ キャリーバック
- □ リード・ハーネス

使い慣れた道具
- □ ブラシ
- □ おもちゃ

トイレ用品
- □ ペットシーツ
- □ 猫砂
- □ ビニール袋

ペットを識別するため
- □ ペットと飼い主の写真

※以下、犬の場合
- □ 鑑札
- □ 狂犬病予防注射済票
- □ 愛犬手帳

避難所生活での注意点

- 普段以上に周りの人へ配慮する（特にふん尿に関するトラブルが多い）
- 飼育スペースの管理・清掃は、飼い主が責任をもって行いましょう。
- 避難生活が長期化する場合、避難所の飼い主でペットのトラブルの解決、飼育ルールの確認、飼育スペース全体やその周囲の管理・清掃の当番制の導入などのため、「飼い主の会」が発足される場合があります。避難所の飼い主は、発足された場合、積極的に参加してください。



ペット避難のマニュアルを作成しました

災害時のペット避難に関する事項をまとめた「江南市ペットの避難のためのマニュアル」を作成しました。

マニュアルは、市のホームページで公開しており、各避難所開設時にも見ることができます。

江南市ペットの避難のためマニュアルHP

外国人への対応について

外国人への対応



江南市には約3,000人の外国人が暮らしています。
外国人の多くは風水害や地震などの経験が少ないため、
災害の際には日本人以上に強い不安を感じると思われます。
外国人が孤立しないよう、周りの方の配慮が重要になります。

- 避難する際は、周囲の人が避難誘導してあげましょう。
- 日本語が分かる人には、避難する場所はどこなのか、道順や目印などを伝えましょう。
- 日本語でも十分に気持ちは伝わりますので、積極的に声をかけましょう。
- 話すときは、わかりやすく短い言葉でゆっくり伝えましょう。絵や実物などを示しながら話すと良いでしょう。
- 翻訳アプリを活用することも有効です。
- 災害への不安を和らげるには、通訳できる人を介して正しい情報をきちんと伝えることも大切です。
- 掲示物には、ひらがなやカタカナを添えましょう。
- 宗教上の理由で食べられない物がある等、国と文化の多様性があることを知りましょう。
- 外国人の中には避難所運営に協力したいという方もいますので、積極的に参加してもらいましょう。

外国人への情報提供など

日本に住まれている外国人の方、来られる外国人の方が安心・安全に過ごすことができるように、外国語での情報提供を行っております。（対応言語は令和８年８月時点のもの）

消防庁　防災マニュアル

地震が発生した時の行動などをまとめたもの

対応言語：日本語・English

https://www.fdma.go.jp/relocation/bousai_manual/e/index.html

国立研究開発法人 情報通信研究機構　VoiceTra

多言語音声翻訳アプリ

https://voicetra.nict.go.jp/

対応言語

日本語・English・简体中文・繁體中文・한국어
ภาษาไทย・français・Bahasa Indonesia・Tiếng Việt
Español・မြန်မာဘာသာစကား・Filipino・ភាសាខ្មែរ
Português do Brasil・italiano・नेपाली भाषा・اردو
Монголхэл・українськамова
ру́сскийязы́к・आधुनिक मानक हिन्दी・اللغة العربية
Nederlands・සිංහල・dansk・Deutsch・தமிழ்
Bengali・Türkçe・Português・magyar nyelv
język polski・Bahasa Melayu・ພາສາລາວ

気象庁　ホームページ

気象・地震・津波・火山に関する情報を提供

https://www.jma.go.jp/jma/kokusai/multi.html

観光庁（監修）　Safety Tips

緊急地震速報、津波警報、気象特別警報、避難勧告等をプッシュ型で通知するアプリ

https://www.rcsc.co.jp/safety-tips-jp

対応言語

日本語・English・简体中文・繁體中文・한국어
Español・Português・Bahasa Indonesia
Tiếng Việt・Tagalog・ภาษาไทย・नेपाली भाषा
ភាសាខ្មែរ・မြန်မာဘာသာစကား・Монголхэл

地域の防災活動について

自助と共助

阪神・淡路大震災のときに、生き埋めになったり閉じ込められた人が誰に助けられたかを示したものです。およそ９割の方が自力・家族（自助）、もしくは、近所の人などの助け合い（共助）で助かっています。

大規模な災害では、消防・警察・自衛隊などの公的機関による救助（公助）には限りがあります。このため、命を守るために、『自助』、『共助』が極めて重要になります。

自助　自分の命は、自分で守り
かぞくの命は、家族で守る

共助　自分たちのまちは、
自分たちで守る

【生き埋めや閉じ込められた際の救助】

	救助者	割合
自助	自力	34.9%
	家族	31.9%
共助	友人・隣人	28.1%
	その他	0.9%
公助	救助隊	1.7%
	その他	0.9%

兵庫県南部地震における火災に関する調査結果報告書（日本火災学会）

地域のちからで自主防災力をあげよう

『共助』でできることは災害時の取り組みだけではありません。

平時から地域ぐるみで防災活動に取り組むことにより、防災力を上げることができます。

普段からコミュニケーションを

普段から、家族や近所の方とあいさつをしたり、町内会の行事に参加して、地域の人たちと、コミュニケーションを取るようにしましょう。

要配慮者への配慮

高齢者や障がいのある方、妊産婦、外国人など、災害時の状況把握や避難などに支援が必要な人がたくさん暮らしています。災害が発生したときは、思いやりや、支援を心がけましょう。

災害時はみんなで協力

いざという時は、声をかけ合って、みんなで避難しましょう。

避難所運営への協力

物資等の配布、生活環境を良好に保つなど、避難所の運営に協力しましょう。

地域の訓練に参加

地域の自主防災組織が実施する訓練に積極的に参加しましょう。





地域の防災活動に参加しましょう

地域の自主防災組織

自主防災組織は、「自分たちの地域は自分たちで守る」ために自主的に結成する組織のことで、災害による被害を予防・軽減するため活動を行っています。

日頃から地域の防災活動に積極的に参加することが、自分自身や家族、近所の方々を守ることにつながります。

江南市では想定されていない災害

江南市で想定されている災害は主に「風水害」と「地震」ですが、旅行などで違う地域にいるときに被災する場合も考えられます。

地域が変われば想定される災害の種類や注意しなければならないことも変わってきます。

帰省などでよく行く地域や旅行先の自治体が作成するハザードマップや防災啓発資料を確認し、もしもの時の行動を考えましょう。



津波

- 沿岸で地震が起き津波の恐れがある場合、地震発生後およそ3分で警報・注意報が発表されます。発表されたら素早く避難しましょう。
- 避難場所は自治体が公表しているので、事前に確認しておきましょう。

高潮

- 台風や発達した低気圧の通過時に、海岸部の潮位が大きく上昇する現象です。
- 海面が堤防を越えて道路や家屋に浸水することがあり、注意が必要です。
- 自治体が高潮ハザードマップを作成している場合があるので、確認しておきましょう。



土砂災害

- 降雨や融雪で地盤が緩み、長雨や強雨が続いたときに発生しやすくなります。
- 被害のおそれがある地域は「土砂災害警戒区域」に指定され、自治体ごとに公表されています。
- 土砂災害に関する気象情報が発令され、警戒区域内にいる場合は、安全な場所へ避難しましょう。



火山災害

- 火山は活動状況に応じて噴火警戒レベルが設定され、入山規制や避難などの措置がとられます。
- 噴火時には噴石や火砕流など命に関わる噴出物のほか、火山灰による健康被害・交通障害・農作物被害などが発生します。
- 火山に近づく場合は、事前に噴火警戒レベルや火山活動状況を確認しましょう。

武力攻撃やテロ

武力攻撃や大規模テロなどから国民の生命、身体、財産を保護するため緊急の必要があると認めたときは、国が警報や避難の指示をします。

弾道ミサイルへの対応

- Jアラートが発令されたら…弾道ミサイルは数分以内に日本に着弾します。すぐに行動しましょう。
- 屋内にいる場合…ドアや窓を全部閉めてガス、水道、換気扇を止め、できれば窓のない部屋に移動しましょう。
- 屋外にいる場合…近くの建物に避難しましょう。近くに建物がない場合は、物陰に身を隠すか地面に伏せ頭部を守りましょう。

武力攻撃やテロからの避難

- うわさやインターネットなどのデマに惑わされることはないように、テレビやラジオなどで確認し情報を集めましょう。
- 不要な外出は避け、人の集まる場所には近づかないようにしましょう。
- 落ち着いて行動し、自分の身を守る行動をしてください。近くで爆発や火災があった場合は、すみやかにその場を離れ、警察官や消防官などがいればその指示に従いましょう。

災害時に正しい情報を入手する

防災情報の入手

災害時は様々な情報が錯綜し、混乱を招く場合があります。
大切なのは「最新の正しい情報」を入手し、行動することです。
いざという時に備え、どのような情報がどのようにして受信できるのかを確認しておきましょう。
気象や防災に関する情報はテレビやラジオのほか、以下のホームページなどから入手できます。

江南市公式ホームページ・SNS

江南市公式ホームページ
www.city.konan.lg.jp

@city.konan.koho
Facebook
（フェイスブック）
江南市広報【公式】

@konan_koho
X（エックス）
（旧Twitter）
江南市広報【公式】

@konan_city
LINE（ライン）
江南市広報【公式】

江南市防災行政無線

避難情報などをお知らせする屋外スピーカーを市内全域に整備し、運用しています。



気象庁

あなたの街の防災情報

対象の市町村の各種気象情報、雨雲レーダーなどが、リアルタイムに確認できます。

江南市の情報
https://www.jma.go.jp/bosai/#pattern=default

国土交通省

川の防災情報

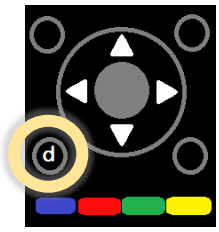
身近な河川の大雨時の水位と危険性をリアルタイムで確認できます。

https://www.river.go.jp/index

NHKデータ放送

データ放送は、テレビのリモコン操作のみで、気象情報、避難情報などが確認できます。

NHK（３チャンネル）に合わせて、リモコンの「ｄ」ボタンを押します。



Yahoo!防災速報

現在地の地震速報やJアラート、豪雨予報などの速報を通知するアプリです。

iPhone　iPad
Android

全国避難所ガイド

現在地周辺の避難所・避難場所を自動検索し、各種ハザードマップを表示する防災情報アプリです。

iPhone　iPad
Android

コミュニティFM

江南市と災害時の放送に関する協定を締結している放送事業者より、災害情報等が放送されます。

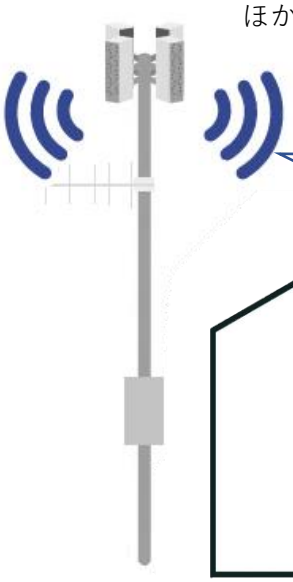
●FMいちのみや株式会社
（i-wave76.5FM）
周波数/送信出力
76.5MH z /20W

●愛知北エフエム放送株式会社
（United North84.2）
周波数/送信出力
84.2MH z /20W

様々な手段で情報を入手しましょう。

市内全域に屋外スピーカーを設置しておりますが、住宅の気密性能の向上や気象状況、周囲の交通状況により音声が聞き取りづらいことがあります。江南市あんしん・安全ネットメールや市公式SNSのほか電話応答サービスで放送内容の確認ができます。

防災行政無線HP





FAX配信サービス

聴覚に障がいがあり、屋外スピーカーから流れる音声が聞き取れない方で携帯電話を持っていない方を対象に、屋外スピーカーから流れる音声と同じ内容をFAXで送信することができます。（申請が必要：ご希望の方は防災安全課にご相談ください。）

電話応答サービス

屋外スピーカーから流れる音声と同じ内容を聞き直すことができます。

TEL

050-1794-0493



防災行政無線が鳴っていたが内容が聞き取れない場合…

テレビ・ラジオ・インターネット

〇ページを参考に災害情報を収集できます。

気象警報や緊急放送などは、市の情報発信以外からも入手できます。

江南市あんしん・安全ネットメール

お手持ちのメールアドレスを登録することで、避難情報や津波、地震情報、気象情報、Jアラート（全国瞬時警報システム）などを受け取ることができます。

登録方法

①PC・スマートフォンの場合

（スマートフォンで①の二次元コードを読み取る、もしくは、PC・スマートフォンで下記のサイトに接続後、手順に従って登録する。）

https://plus.sugumail.com/usr/konan/home

①スマートフォン用

②フィーチャーフォン（ガラケー）の場合

（フィーチャーフォン（ガラケー）で②の二次元コードを読み取る、もしくは、サイトに接続後、手順に従って登録する。）

https://plus.sugumail.com/m/konan/home

②フィーチャーフォン（ガラケー）用

③共通

（下記のメールアドレス宛に空メールを送り、返信されたメールに記載されている手順に従って登録する。）

konan-entry@sg-p.jp

※迷惑メール設定をしている場合は、事前に「@sg-m.jp」ドメイン、または、「konan@sg-m.jp」からメール受信を許可する設定にしてください。

お問い合わせ先　江南市役所　防災安全課　**TEL　0587-50-0173**

指定避難所



災害のあとに生活するところ

	使用場所	所在地
1	古知野東小学校（体育館）	宮後町船渡５８
2	古知野西小学校（体育館）	東野町郷前西８８
3	古知野南小学校（体育館）	古知野町大塔７２
4	古知野北小学校（体育館）	和田町宮１４５
5	布袋小学校（体育館）	布袋下山町南１６７
6	布袋北小学校（体育館）	今市場町秋津２２０
7	宮田小学校（体育館）	後飛保町両家１２５
8	草井小学校（体育館）	小杁町長者毛西１
9	藤里小学校（体育館）	村久野町藤里１
10	門弟山小学校（体育館）	村久野町門弟山２７２
11	古知野中学校（体育館）	高屋町遠場１４８
12	布袋中学校（体育館）	北山町西７
13	宮田中学校（体育館）	後飛保町前川２１０
14	北部中学校（体育館）	村久野町平松２４５
15	西部中学校（体育館）	上奈良町観音寺６０
16	宮田保育園（遊戯室）	後飛保町新開２３
17	古知野中保育園（遊戯室）	古知野町熱田２０３
18	ＫＴＸアリーナ（メインアリーナ）	高屋町清水１１８
19	江南市武道館（２・３階）	高屋町清水１１８
20	ウィステリアプラザ（２階）	古知野町宮裏１２１
21	すいとぴあ江南（研修室Ａ・Ｂ）	草井町西２００
22	布袋ふれあい会館（会議室・談話室・娯楽室）	布袋町東３５９
23	布袋北部地区学習等供用施設（休養室・集会室）	木賀町新開２７８
24	布袋南部地区学習等供用施設（休養室・集会室）	小折本町小松原２８
25	古知野東公民館（会議室・講義室）	宮後町清水１６１
26	江南高等学校（体育館・武道場）	北野町川石２５-２
27	古知野高等学校　※（体育館・武道場）	古知野町高瀬１
28	尾北高等学校　　※（体育館・武道場）	北山町西４

※この避難所は、他の避難所の収容人数が超過した時に開設される、補助的な避難所になります。

洪水避難ビル



洪水から身を守るところ

	使用場所	所在地
1	古知野東小学校（２階以上の廊下・屋上）	宮後町船渡５８
2	古知野西小学校（２階以上の廊下・屋上）	東野町郷前西８８
3	古知野南小学校（２階以上の廊下・屋上）	古知野町大塔７２
4	古知野北小学校（２階以上の廊下・屋上）	和田町宮１４５
5	布袋小学校（２階以上の廊下・屋上）	布袋下山町南１６７
6	布袋北小学校（２階以上の廊下・屋上）	今市場町秋津２２０
7	宮田小学校（２階以上の廊下・屋上）	後飛保町両家１２５
8	草井小学校（２階以上の廊下・屋上）	小杁町長者毛西１
9	藤里小学校（３階以上の廊下・屋上）	村久野町藤里１
10	門弟山小学校（２階以上の廊下・屋上）	村久野町門弟山２７２
11	古知野中学校（２階以上の廊下・屋上）	高屋町遠場１４８
12	布袋中学校（２階以上の廊下・屋上）	北山町西７
13	宮田中学校（２階以上の廊下・屋上）	後飛保町前川２１０
14	北部中学校（２階以上の廊下・屋上）	村久野町平松２４５
15	西部中学校（２階以上の廊下・屋上）	上奈良町観音寺６０
16	KTXアリーナ（江南市スポーツセンター２階）	高屋町清水１１８
17	江南市武道館（２階以上）	高屋町清水１１８
18	布袋ふれあい会館（２階以上）	布袋町東３５９
19	愛北看護専門学校（校舎屋上）	高屋町大松原１３７-７
20	すいとぴあ江南（４階以上）	草井町西２００
21	布袋北部地区学習等供用施設（2階）	木賀町新開２７８
22	布袋南部地区学習等供用施設（2階）	小折本町小松原２８
23	古知野東公民館（2階）	宮後町清水１６１
24	㈱綿半ホームエイド江南店（屋上駐車場）	上奈良町緑１３
25	養護老人ホーム　サンライフむつみ（４階共用廊下）	河野町川西７２
26	特別養護老人ホーム　第２サンライフ江南（３～５階セミパブリックスペース）	河野町五十間７３
27	介護老人保健施設　フラワーコート江南（２階機能訓練室）	河野町五十間４
28	特別養護老人ホーム　ジョイフル江南（５階セミパブリックスペース）	河野町五十間５９
29	特別養護老人ホーム　第２ジョイフル江南（３階プラチナホール）	河野町五十間５１
30	ウィステリアプラザ（２階・３階）	古知野町宮裏１２１

地震火災避難広場





※避難所・避難場所は、ハザードマップでも確認できます。

ハザードマップHP

地震や火災から身を守るところ

	施設名	所在地	地震	大規模火災
1	古知野東小学校（グランド）	宮後町船渡５８	○	○
2	古知野西小学校（グランド）	東野町郷前西８８	○	○
3	古知野南小学校（グランド）	古知野町大塔７２	○	○
4	古知野北小学校（グランド）	和田町宮１４５	○	○
5	布袋小学校（グランド）	布袋下山町南１６７	○	○
6	布袋北小学校（グランド）	今市場町秋津２２０	○	○
7	宮田小学校（グランド）	後飛保町両家１２５	○	○
8	草井小学校（グランド）	小杁町長者毛西１	○	○
9	藤里小学校（グランド）	村久野町藤里１	○	○
10	門弟山小学校（グランド）	村久野町門弟山２７２	○	○
11	古知野中学校（グランド）	高屋町遠場１４８	○	○
12	布袋中学校（グランド）	北山町西７	○	○
13	宮田中学校（グランド）	後飛保町前川２１０	○	○
14	北部中学校（グランド）	村久野町平松２４５	○	○
15	西部中学校（グランド）	上奈良町観音寺６０	○	○
16	KTXアリーナ（江南市スポーツセンターグランド）	高屋町清水１１８	○	○
17	すいとぴあ江南	草井町西２００	○	○
18	尾北高等学校（グランド）	北山町西４	○	○
19	江南高等学校（グランド）	北野町川石２５-２	○	○
20	古知野高等学校（グランド）	古知野町高瀬１	○	○
21	滝学園（グランド）	東野町米野１	○	○
22	地蔵山児童遊園	布袋町北１６２	○	
23	草井児童遊園	草井町中３８先	○	
24	立布袋児童遊園	五明町青木１７５	○	
25	二子山児童遊園	曽本町二子１３６-１	○	
26	木賀公園	木賀町大門２６	○	○
27	古知野中児童遊園	古知野町本郷４０	○	
28	北山児童遊園	北山町東６３	○	
29	小鹿児童遊園	小杁町八幡３３７	○	
30	白山児童遊園	尾崎町白山３５	○	
31	（仮称）大間児童公園	赤童子町大間７０	○	○
32	曼陀羅寺公園	前飛保町寺町２０２	○	○
33	中央公園	北野町川石１-１	○	○
34	蘇南公園	宮田町本田島３２２	○	○
35	江南緑地公園（中般若グランド）	中般若町川端２８４	○	○
36	江南緑地公園　（草井グランド）	草井町中２７０	○	○
37	フラワーパーク江南	小杁町一色地先	○	○

マイ・タイムラインを作ろう！

洪水や土砂災害といった風水害は、時間とともに状況が変化する非常に恐ろしい災害です。災害に備えて、自分や家族がどのタイミングで何をするかをあらかじめ決めておけば、いざというときあわてずに行動することができます。風水害に備えて、一人一人がどのように行動するかを時間の経過にそって整理した「防災行動計画」マイ・タイムラインを作成しましょう。

ホームページから、エクセル形式でダウンロードできます。

マイ・タイムラインHP
https://www.city.konan.lg.jp/kurashi/bousai/1004370/1006291/1020099.html

記載例

マイ・タイムラインシート

日頃からの備え

自宅（周辺）の状況

- ☑ 木曽川の浸水の深さ（浸水の深さ：0.5 ～ 3 m）
- ☑ 青木 川の浸水の深さ（浸水の深さ：1 ～ 3 m）
- ☐ 内水の浸水の深さ（浸水の深さ：0 ～ 0 m）

ハザードマップなどで自宅周辺を確認しましょう。

ハザードマップは、14ページ

避難する場所

避難所：息子夫婦の家（避難手段：車で30分）
洪水避難ビル：古知野東小学校（避難手段：徒歩で20分）

避難する場所を決めましょう。
指定されている場所以外も考えましょう。

避難所・避難場所一覧は、27～28ページ

避難のタイミング

高齢者等避難が発令されたとき

自分と家族の避難するタイミングを考えましょう。

警戒レベル・避難情報一覧は、10ページ

非常持ち出し品（避難のときに持っていくもの）

常備薬、マイナンバーカード、現金、着替え、洗面道具、携帯電話
（息子夫婦の家以外に行く場合：食べ物、飲み物、懐中電灯を追加する）

避難するときに何を持っていくか考えましょう。

備蓄品・持ち出し品は、5ページ

時間経過	警戒レベル	気象情報・市からの避難情報	なにをする？ 地域の動きや注意すること	なにをする？ わたしと家族の動き
2～5日前	1	台風・大雨に関する気象情報（週間天気予報など） 緊急安全確保	早期注意情報	・家族の予定を確認する ・非常持ち出し品を確認する ・ハザードマップを再確認する
1日前～大雨当日	2	大雨・氾濫注意報	自らの避難行動を確認	・避難するかもしれないから息子夫婦に連絡する ・避難の準備を始める（約30分）
1日前～大雨当日	3	大雨警報・氾濫警報 避難判断水位 高齢者等避難	危険な場所から高齢者等の避難に時間がかかる人は避難	・ブレーカーを落とす ・ガスの元栓を閉める ・避難を始める（約30分） ・隣の○○さんに声をかける
雨が強まる	4	大雨危険警報・氾濫危険警報 氾濫危険水位 避難指示	危険な場所から全員避難	・避難が完了している
災害発生	5	大雨特別警報・氾濫特別警報 氾濫発生水位 緊急安全確保	命の危険 直ちに安全確保	もし避難できていなかったら？ ・2階の川から離れた部屋で安全確保する

警戒レベルごとに何をするか避難完了までの行動を考えましょう。

逃げ時判断は、13ページ

《警戒レベル4までに必ず避難！》



風水害に備える!!　マイ・タイムラインシート

日頃からの備え

自宅（周辺）の状況	□ 木曽川の浸水の深さ　（浸水の深さ：＿＿ ～ ＿＿ m ）
	□ ＿＿＿ 川の浸水の深さ　（浸水の深さ：＿＿ ～ ＿＿ m ）
	□ 内水の浸水の深さ　（浸水の深さ：＿＿ ～ ＿＿ m ）
避難する場所	避難所：＿＿＿＿＿＿＿＿（避難手段：＿＿＿＿ で ＿＿ 分）
	洪水避難ビル：＿＿＿＿＿＿＿＿（避難手段：＿＿＿＿ で ＿＿ 分）
避難のタイミング	
非常持ち出し品（避難のときに持っていくもの）	

時間経過	警戒レベル	気象情報 市からの避難情報	なにをする？ 地域の動きや注意すること	なにをする？ わたしと家族の動き
2～5日前	1	台風・大雨に関する気象情報（週間天気予報など） 緊急安全確保	早期注意情報	
1日前～大雨当日	2	大雨・氾濫注意報	自らの避難行動を確認	
	3	大雨警報・氾濫警報 避難判断水位 高齢者等避難	危険な場所から高齢者等の避難に時間がかかる人は避難	
雨が強まる	4	大雨危険警報・氾濫危険警報 氾濫危険水位 避難指示	危険な場所から全員避難	
		《警戒レベル4までに必ず避難！》		
災害発生	5	大雨特別警報・氾濫特別警報 氾濫発生水位 緊急安全確保	命の危険 直ちに安全確保	もし避難できていなかったら？

災害時の安否確認

災害の時は、電話や通信がつながりにくくなります。災害時は下記のサービスが安否確認のため提供されますので、事前に家族と相談し、どのように安否確認をするか決めておきましょう。

災害時の声の伝言板１７１災害伝言ダイヤル

録音方法

①「171」にダイヤル
②「1」を押す
③自宅(市外局番から)や携帯電話の番号を入力※
④「1」を押して伝言を録音
⑤「9」で終了

再生方法

①「171」にダイヤル
②「2」を押す
③伝言を聞きたい電話番号(市外局番から)を入力※
④「1」を押して伝言を再生
⑤「9」で終了もしくは「8」でもう一度

※どの電話番号を使うか事前に家族で話し合いましょう。

使用する電話番号	TEL：

各携帯会社の災害用伝言版

登録方法

①公式メニューや専用アプリの災害用伝言版にアクセス
②「登録」を選ぶ
③伝えたい項目を選ぶ
④その画面で「登録」を選ぶ
⑤伝言の登録が完了

確認方法

①公式メニューや専用アプリの災害用伝言版にアクセス
②「確認」を選ぶ
③安否確認したい相手の電話番号を入力
④その画面で「検索」を選ぶ
⑤伝言の検索結果が表示

わが家の防災メモ

事前に家族で話し合い、いざというときに必要となる情報を共有しましょう。

家族メモ

名前	血液型	会社・学校名	緊急連絡先

避難先メモ

避難所	
地震火災避難広場	
洪水避難ビル	

緊急連絡先メモ

名称	電話番号
江南市消防署	55-2258
江南市役所	54-1111
江南警察署	56-0110
電気会社	
ガス会社	
病院	

その他のメモ

災害情報確認用

江南市公式ホームページ
https://www.city.konan.lg.jp

気象庁：江南市の情報
https://www.jma.go.jp/bosai/#pattern=default

国土交通省：川の防災情報
https://www.river.go.jp/index

令和８年11月作成　江南市　防災安全課　TEL　0587-54-1111（代）
0587-50-0173（直）